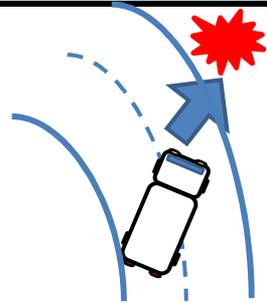
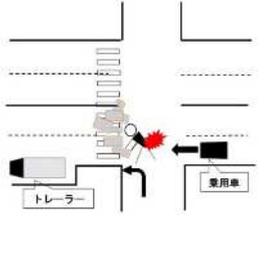
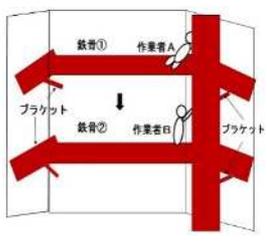
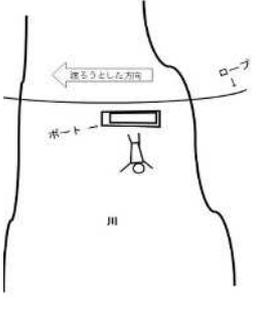
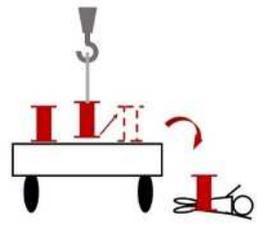


令和6年の死亡災害発生状況(速報)

令和6年5月31日現在

事故の型： 飛来、落下 2人 交通事故(道路) 2人 交通事故(その他)1人

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図 (同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	事故の型	起因物
1	2月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	40代	<p>飼料運搬車にて荷先に飼料を運搬する途中、県道のガードレールを突き破って、約5メートル下に転落した。 路面凍結により、左カーブを曲がり切れなかったものと推定される。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 路面状況に応じた運転をすること。 冬季の深夜から早朝の時間帯にかかる運行は、路面凍結を念頭に置いて運行計画を作成し、運転者に周知すること。 		交通事故(道路)	トラック
2	2月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>トレーラーに鋼板を積んで運搬中、信号交差点を左折した際に、積み荷の鋼板が交差点内に落下した。 被災者(運転者)はトレーラーを交差点の先にハザードを点滅させて駐車し、交差点内に散乱した鋼板を拾い集める作業を行っていたところ、後方から来た乗用車にひかれた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路上の作業は行わないこと。止むを得ず道路上で作業する場合は、後方から来る自動車に注意喚起するための措置を講ずること。 		交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
3	3月	土木建設業	男性	建設作業員	50代	<p>土留め支保工の組み立て中に、作業員Aが、鉄骨 上でレバブロックで移動させていたところ、ブラケットから外れ、鉄骨 とAが落下した。その際、下の鉄骨 上で作業をしていた作業員Bが鉄骨 の下敷きになったもの。(Aは重傷)</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 土止め支保工の組立て作業手順を定めて作業を行うこと。 上下作業を避けること。 		飛来、落下	支保工
4	3月	土木建設業	男性	建設作業員	20代	<p>作業員4人が川の右岸から左岸へボートで渡って作業していたところ、天候が悪化したため右岸に戻ることとなった。ロープを張り、ボートに乗ってロープを伝えて渡っていたところ、ボートが傾いて4人も川に投げ出された。3人はすぐに救出されたが、被災者は約300m下流に流された。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ボートで川を渡る際はライフジャケットを着用すること。 ロープを流れに垂直ではなく下流に向かうよう(図の右上から左下方向)に張ること。 		交通事故(その他)	その他の乗物
5	5月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	30代	<p>建設現場に長さ約10メートル、重量約3トンのH型鋼材を搬入中、クレーンでつり上げていたH型鋼材が、トラックに積んでいた別のH型鋼材に引っかかり、引っ掛けられたH型鋼材が荷台脇にいた被災者の上に落下した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> 玉掛け作業員以外の者はクレーンの旋回範囲に立ち入らないこと。 玉掛け作業員は、つり上げている荷の状況を確認し、他の荷と触れることによる危険を防止すること。 		飛来、落下	クレーン